

事業概要

令和5年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（令和6年3月31日現在）

(1) 正会員	26名
浅見 敏彦	公益社団法人アルコール健康医学協会副理事長
新井 智男	日本洋酒酒造組合専務理事
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事
伊東 貞	税理士法人さくらホールディングス代表社員・税理士
伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会顧問
上田 茂	公益財団法人日本医療機能評価機構専務理事
梅田 勝	社会福祉法人静和会 副理事長
岡南 啓司	日本蒸留酒酒造組合専務理事
鹿島 晴雄	慶應義塾大学医学部客員教授
岸 英彦	日本洋酒輸入協会専務理事
岸野 博行	ビール酒造組合専務理事
行天 良雄	医事評論家
黄金井陽介	全国地ビール醸造者協議会副会長
小平 忠久	全国卸売酒販組合中央会専務理事
雑喉 良祐	一般社団法人チェリー・ブロッサム代表理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 政信	公益社団法人日本産婦人科医会名誉会員
野崎 貞彦	日本大学医学部名誉教授
福井 次矢	東京医科大学茨城医療センター病院長
堀井 茂男	公益社団法人日本精神科病院協会前常務理事
三木 和平	公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長
南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役調査研究担当
森 幹雄	公益社団法人アルコール健康医学協会前常務理事
山名 規雄	日本酒造組合中央会副会長
吉田 精孝	全国小売酒販組合中央会会長
渡辺 哲	東海大学医学部客員教授

(2) 賛助会員 団体会員 16者

(酒類業界等11者、製薬業界2者、病院2者、その他1者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社東洋新薬
医療法人(社団)新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(第1回通常理事会) 令和5年5月22日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 令和4年度事業報告書(案)及び同収支決算(案)について
(2) 企画委員会 企画委員の選任について

(第1回臨時理事会) 令和5年6月21日(水) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 17名

イ. 議題 (1) 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

(第2回臨時理事会) 令和5年7月20日(木) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 正会員の入会について
(2) 臨時社員総会の開催について

(第3回臨時理事会) 令和5年12月25日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 正会員の入会について
(2) 臨時社員総会の開催について

(第4回臨時理事会) 令和6年1月29日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

- ア. 理事 20名（理事全員から回答）
- イ. 議題 (1) 企画委員会 企画委員の選任について

(第2回通常理事会) 令和6年3月22日（金）於：日比谷松本楼

- ア. 出席理事 16名
- イ. 議題 (1) 令和6年度事業計画書（案）及び同収支予算（案）について
- (2) 企画委員会 企画委員の選任について
- (3) 令和6年度定時社員総会の開催・招集について
- ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会) 令和5年6月21日（水）於：日比谷松本楼

- ア. 出席社員 26名（委任状提出者を含む）
- イ. 議題 (1) 令和4年度事業報告書（案）及び令和4年度財務諸表（案）について

(第1回臨時社員総会) 令和5年8月10日（木）

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

- ア. 出席社員 27名（委任状提出者を含む）
- イ. 議題 (1) 役員を選任について

(第2回臨時社員総会) 令和6年1月22日（木）

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

- ア. 出席社員 26名（委任状提出者を含む）
- イ. 議題 (1) 役員を選任について

4. 企画委員会の開催状況について

- (1) 構成員 企画委員 11名（令和6年3月31日現在）
（任期：令和4年11月8日～令和6年11月7日）

伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 顧問
岩崎 智	サントリーホールディングス株式会社 グローバルARS 部部長
衛藤 隆	東京大学名誉教授
佐藤 睦子	淑徳大学看護栄養学部看護学科 准教授
重盛 憲司	三軒茶屋神経科・心療内科クリニック 院長
高林 充	サッポロビール株式会社 総務部マネージャー
永田 武	日本酒造組合中央会 理事
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ 副理事長
平山 奈緒	全国小売酒販組合中央会 事務局次長
堀田美枝子	全国養護教諭連絡協議会 顧問
松本 浩明	宝酒造株式会社 常務執行役員東京事務所長

他に、専門委員2名

(2) 開催日時及び議題

令和5年度の企画委員会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染状況を鑑み、電子メールにて意見集約を行う形式と参集しての通常会議で決定した。

≪令和5年≫

4月14日（金）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS」企画案の検討

5月25日（木）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.29 No.1」原稿確認
2. 機関誌「お酒と健康」表紙デザイン決定と内容確認
3. 令和4年度事業報告書(案)・同財務諸表(案)の報告

9月28日（水）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.29 No.2」原稿確認
2. 令和5年度助成金申請受付状況の報告

≪令和6年≫

2月8日（木）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.3」原稿確認
2. 令和6年度事業計画書(案)並びに同収支予算書(案)について
3. その他

3 業務関係事業報告

令和5年度においては、賛助会費等 38,240 千円、出版物等頒布収入 603 千円、基本財産運用益 1,153 千円、助成金 1,200 千円、委託金 6,338 千円等、計 47,534 千円をもって、次の事業を実施した。

【公1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の作成・発行事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに 20 歳未満飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌や小冊子等を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第 43 号を 7 千 3 百部発行（6 月）
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol.29 No.1～No.3 を計 2 万 2 百部発行（7 月、11 月、3 月）
- ・ 中学生向け飲酒防止啓発資料「知っていますか？お酒のこと」を 1 万部増刷（7 月）
- ・ 高校生向け飲酒防止啓発資料「知っておこう お酒のこと」を新規に 1 万部作成（7 月）
- ・ 適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」5,000 部増刷（10 月）

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。
- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。
- ③ 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター等に対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ 11 件（計 1,879 部）の申込みがあった。

各種大会等に対する資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
【令和5年】 8月18日	第32回アルコール健康教育研修会	100部

20歳未満飲酒防止向け資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
《令和5年》 【通年】	浦安市薬剤師会	1,000部

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の10か条、飲酒運転防止、20歳未満飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、令和5年度中のアクセス件数は、26,837件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会作成・発行の情報誌「NEWS&REPORTS」、書籍やリーフレット等（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、リーフレット「女性と飲酒」、適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」、20歳未満飲酒防止小冊子（小学生版・中学生・高校生版）等を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対して、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

令和5年度は次の6件の後援等依頼があった。

- ・第33回「肝臓週間」（（公財）ウイルス肝炎研究財団）
- ・第32回アルコール健康教育研修会（健康行動教育科学研究会）
- ・令和5年度「青少年の非行・被害防止全国協調月間」（こども家庭庁）
- ・「アルコール関連問題」認定アドバイザー養成講座（NPO法人青少年健康力サポートラボ）
- ・第70回精神保健福祉普及運動及び第70回全国精神保健福祉全国大会（厚生労働省）
- ・全国生活習慣病予防月間2024（（一社）日本生活習慣病予防協会）

6. 取材・問合せ等への対応事業

一般消費者からの問い合わせ、新聞・雑誌・TV等のメディア関係者や公共団体、企業等から当協会ホームページに掲載している適正飲酒、飲酒運転、20歳未満飲酒防止等に関する問合せや講師紹介依頼など数十件あった。

また、当協会ホームページのリンク依頼やホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、新聞・雑誌・TV等のメディア関係者や公共団体、企業等が発信している媒体、広報誌、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が10件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

第13回 飲酒と健康に関する講演会を令和5年11月15日（水）星陵会館で開催した。

また、令和6年3月に講演会の内容を取りまとめた記録集を2,400部作成し、関係者に配付した。記録集については、当協会のホームページにも掲載。

第13回 飲酒と健康に関する講演会

主 催 者	公益社団法人アルコール健康医学協会
日 時	令和5年11月15日（水） 13:50~16:40
開催場所	星陵会館ホール（東京都千代田区）
参 加 者	来場者99名
後 援	厚生労働省、文部科学省、国税庁、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会
講演内容	1. 健康日本21（第三次）とアルコール健康障害対策の推進 厚生労働省 健康・生活衛生局健康課 女性の健康推進室長 田邊和孝 2. 大学における「節度ある飲酒に関する指導」について 法政大学 スポーツ健康学部 教授 鬼頭英明 3. アルコールによる重症肝障害：わが国における実態と治療 埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科 教授 持田 智

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。

令和5年度は助成金を以下の(1)から(6)の6件について助成金を交付することを決定し、6件について助成をした。

(1) 第32回アルコール健康教育研修会への助成

主催者	第32回アルコール健康教育研修会 健康行動教育科学研究会
開催日時	令和5年8月18日(金) 13:00~16:30
会場	全水道会館 5階 中会議室
参加者	72名
講演等	講演Ⅰ アルコールと健康(社会的・医学的問題) 白石光一(東海大学医学部教授・東海大学医学部東京病院副院長) 講演Ⅱ アルコールと健康(動物実験の結果等から) 今井恒彦(元東邦大学医学部公衆衛生学講師) 講演Ⅲ アルコール健康教育の進め方 小出彰宏(横浜薬科大学教授)

(2) 第58回日本アルコール・アディクション医学会学術総会への助成

主催者	第58回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 会長 神田秀幸(岡山大学学術研究院歯薬学域(公衆衛生学)教授)
開催日	令和5年10月13日(金)~15日(日)
会場	岡山コンベンションセンター
参加者	843名
講演等	特別講演 ポストコロナ時代の新しい生活様式 座長 神田秀幸(第58回日本アルコール・アディクション医学会 大会長) シンポジウム テーマ:アルコール・アディクション研究の国際的動向とわが国での取り組み 座長:池嶋健一(順天堂大学医学部 消化器内科学講座) 白坂知彦(手稲溪仁会病院 精神保健科) シンポジウム テーマ:依存症患者の異常死の実態 座長:三浦雅布(川崎医科大学 法医学教室) 他

(3) 第45回日本アルコール関連問題学会への助成

主 催 者	第45回日本アルコール関連問題学会 会長 堀井茂男（公益財団法人慈圭会 慈圭病院 理事長）
開 催 日	令和5年10月13日（金）～15日（日）
会 場	岡山コンベンションセンター
参 加 者	843名
講 演 等	シンポジウム テーマ：アルコール健康障害対策基本法の現状とこれから～コロナ禍を超えて～ 座長：白坂知彦（手稲溪仁会病院 精神保健科） 堀井茂男（公益財団法人慈圭会 慈圭病院） シンポジウム テーマ：アルコール使用症治療における精神科と内科の連携 座長：太田順一郎（岡山市こころの健康センター） 堀江義則（医療法人社団慶洋会 ケイアイクリニック） 他

(4) 第7回関東甲信越アルコール関連問題学会 八王子大会

主 催 者	第7回関東甲信越アルコール関連問題学会八王子大会 大会長 田 亮介（医療法人財団青溪会 駒木野病院 副院長）
開 催 日 時	令和6年3月3日（日）10：00～17：20
会 場	八王子学園都市センター（八王子スクエアビル 12F）
参 加 者	189名
講 演 等	「つながる・支える・分かちあう」～回復を目指したアディクション支援のいま シンポジウム1 各都県からの現状報告とトピックス 座長：松下幸生（久里浜医療センター 院長） 田 亮介（駒木野病院 副院長） シンポジウム2 アルコール医療における精神科と身体科の連携 座長：堀江義則（ケイアイクリニック 院長） シンポジウム3 高齢者のアルコール関連問題に対する支援を考える 座長：久江洋企（桜ヶ丘記念病院 副院長） シンポジウム4 様々な領域での減酒支援 座長：倉持 穰（さくらの木クリニック秋葉原 院長） シンポジウム5 プログラム・支援の工夫 座長：倉田 勉（袖ヶ浦さつき台病院 精神科研究部長） 他

- (5) 学校等におけるアルコール健康教育に係る学校薬剤師の支援への助成
 一般社団法人東京都学校薬剤師会で作成した、アルコール健康教育で使用するパワーポイントCDの活用方法や授業の進め方の研修会を、在籍する学校薬剤師を対象に7回開催し、計264名に対しアルコール健康教育の普及啓発を図った。
- (6) 青少年アルコール関連健康教育事业への助成
 NP0 法人青少年健康力サポートラボが中学校、高等学校・教育委員会など10か所で20歳未満飲酒防止を含むライフスキル講演をした。受講者は中学生、教員を含め計2,362名。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

アルコールと健康に関する医学情報の収集は平成11年度に当協会の事業として開始し、平成17年度より、疫学・予防、基礎研究（病理・生理・薬理）、臨床・治療（内科系）についてはビール酒造組合からの委託事業となった。

令和元年度からは臨床・治療（精神科系）の情報収集は協会事業として開始している。

令和5年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を201件収集した。

また、令和4年度上半期の論文要旨93件、令和4年度下半期の論文要旨128件については令和6年1月に当協会ホームページに公開した。

医学情報収集に関する委託事業

区分	
契約日	令和5年4月1日
契約期間	1年毎
学術情報収集のための学術調査先	下記参照

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理

区分	担当者
疫学・予防に関する調査	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生
基礎研究（病理・生理・薬理）に関する調査	元高崎健康福祉大学薬学部薬学科 教授 八田 慎一 先生
臨床・治療（内科系）に関する調査	慶應義塾大学 名誉教授 加藤 眞三 先生
臨床・治療（精神科系）に関する調査	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長 松下 幸生 先生

【公3 広告審査事業】

1. 令和5年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は0件、相談は55件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
2. 令和5年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の遵守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ2回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1) 審査委員会及び同実務者委員会の委員（令和6年3月31日現在）

・審査委員会（委員長は勝丸充啓氏）

勝丸 充啓	弁護士（元広島高等検察庁検事長）
岩本 裕	元NHK解説委員
衛藤 隆	東京大学名誉教授
大木 美智子	一般財団法人消費科学センター代表理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長

・実務者委員会（委員長は宍戸 旦氏）

宍戸 旦	マーケティングコンサルタント（元(公社)日本広告審査機構参与）
亀井 慶承	前日本酒造組合中央会理事
梶下 暢浩	ビール酒造組合審議役
田中 潤	前日本洋酒酒造組合アルコール委員会委員長
手島麻記子	食文化研究家
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ副理事長
松本 浩明	日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会委員
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事

(2) 委員会の開催状況

【審査委員会】

(第55回) 令和5年5月15日～5月25日（書面審査）

議題 新規審査委員会委員選任

(第56回) 令和5年7月6日（木）14:00～16:05 於：KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告（苦情・問合せの状況）
 2. 第41回実務者委員会（2023.6.9）の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. その他

(第57回) 令和5年10月10日～10月19日(書面審査)
議題 実務者委員会委員の選定について

(第58回) 令和6年1月29日(月) 15:00～16:50 於:KKRホテル東京
議題 1. 経過報告(苦情・問合せの状況)
2. 第42回実務者委員会(2023.12.18)の報告
3. 酒類広告の審査
4. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
5. その他

【実務者委員会】

(第41回) 令和5年6月9日(金) 13:30～14:50 於:アルコール健康医学協会会議室
1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第42回) 令和5年12月18日(月) 13:56～15:30 於:アルコール健康医学協会会議室
1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
4. その他

(3) 審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要について、第56回は令和5年8月、第58回は令和6年3月に酒類の広告審査委員会のホームページに公開した。
なお、第55回は審査委員会審査委員の選任、第57回は実務者委員会委員選任に伴う書面審査のみ。